



市長年頭あいさつ

誰もが暮らしやすい 安心できるまちに

新年明けましておめでとうございます。

市民のみなさんには、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から市政運営に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、本市の基幹産業である農業は、6月の低温や日照不足などにより生育への影響が懸念されましたが、収穫は順調に進み、多くの作物において良好な出来となりました。特に主要作物の水稲は、毎年の収穫量を示す作況指数が107の「良」、さらに食味が良いとされる低たんぱく米の割合も昨年を大きく上回り、良質でおいしい深川産米をたくさん収穫することができました。生産者のみなさんの日頃からの努力に深く敬意を表するとともに、本年も豊饒な出来秋を迎えられるよう引き続き関係機関・団体と連携を図りながら、本市農業の発展に努めてまいります。

一方、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延により、私たちの日常は大きく変化し、地域経済が大きな打撃を受けるなど、その影響はさまざまな分野に及んでいます。このため本市では、国が創設した「地方創生臨時交付金」を活用し、求められる医療提供体制の強化と地域内での消費喚起の推進など、感染症の拡大防止対策を最優先にしながら、市民生活の維持と地域経済活動の回復を目指し、必要な支援策を積極的に講じているところです。今後もより有効な事業が実施できるよう、国の動向に注意を払いながら、しっかりと取り組んでまいりますので、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

現在検討を進めている市役所新庁舎の建設は、市民や議会のご意見も踏まえ、配置や必要な機能・設備などの基本的な内容をまとめた「新庁舎建設基本設計」を昨年11月に策定しました。今後はこの基本設計を基に、より詳細な実施設計の策定を進め、市民のみなさんの安心安全を支え親しまれる庁舎の実現に向けて着実に取り組んでまいります。また、老朽化が著しく耐震性能も不足している市立高等看護学院は、学生の修学環境の整備と安全性の確保を図るため新校舎の建設を進めており、本年12月に完成する予定です。中核病院として北空知の医療を担う市立病院の安定的な看護師確保に欠かせない教育施設として、引き続き地域医療を支える看護師の養成に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響により地方自治体を取り巻く環境は、より一層厳しさを増すことが予想されます。「第五次深川市総合計画」や「深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基に、人口対策や産業経済対策、さらには保健福祉施策の充実など、将来に向けた新しいまちづくりへの課題をしっかりと見据えながら、市民のみなさんが生き生きと安心して暮らせるまちとなるように、全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。結びに、今年一年が市民のみなさんにとって、明るく幸多き年となりますようご祈念申し上げますとともに、一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束することを願ひまして、新年のごあいさつといたします。

深川市長 山下 貴史